

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		英語発表会				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	区立中学校生徒で希望者							
	事業目的	英語学習の成果を発表することで、学習意欲を高め、生徒や学校間の交流を深めるとともに国際理解教育の充実を図る。							
	事業内容	各中学校や生徒個人の英語劇や英語のスピーチを発表する。 (対象)全区立中学校全学年 (会場)生涯学習センター ミレニアムホール(23年度は浅草中学校にて開催)							
委託の有無	一部委託	委託内容	英語を母国語とする外国人(複数名)により中学校英語学芸会の発表内容(英会話の発音・会話能力・表現力等)について審査する。						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	開催回数 (回)		1	1	1	1		
		参加者数 (人)		90	90	90	83		
	決算額 (単位:千円)				91	64	67		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				180	167	170	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				59	31	35	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				33	33	33	
		総経費				272	231	238	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				272	231	238			
前年度から改善した事項	引き続き適正な事業の実施に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	国際理解教育の推進、各学校間の成果交換の場として機能している。英語分野への興味喚起、意欲向上のため、今後も必要性が認められる						
	効率性	3	学校備品や前年度の在庫品の活用を行う等、効率的な実施に努めている。						
	手段の適切性	3	平成25年度は前年度に引き続き費用のかかる演目が無かったため事業コストが低くなったが、各校の選択によってコストの規模が上下するため、現状の予算額を確保する必要は継続している。						
目的達成度	3	全7区立中学校の参加により、成果指標の目標はおおむね達成されている。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
学習意欲を高め、国際理解教育の充実を図るために有効な事業である。教育効果を考え、事業規模を維持する。							維持		